

富山県データ連携基盤の在り方（現段階での検討の方向性(案)）

- 例えば、となみ局が実運用中のFIWAREを基礎として「県内CATV局共通データプラットフォーム」を構築し、9局が各地域のデジタルデータ・ニーズに即応したうえで「県データ連携基盤」に連携
- (利点)・県下各地域・利用者の異なるニーズ(データ種別・利用タイミング・対応マンパワー・資金事情)に即応が可
- ・個別即応のうえ「県データ連携基盤」に順次連携すれば、ニーズに適い長期・有効運用に資する

